



木造住宅耐震化補助事業のご案内



里都まち♥なかい

近年、全国で大規模な地震が多く発生しています。町では、相次ぐ大地震に備えて、町民の皆様が安心して生活できるよう、木造住宅の耐震診断・耐震改修等にかかる費用への補助を行っています。



耐震診断補助金

住宅の耐震診断にかかる費用を補助します。まずはご自宅の耐震強度を確認しましょう！

【補助対象要件】

- ① 町民自らが所有し、かつ居住している木造住宅
- ② 昭和56年5月31日以前に建築されたもの（ただし、昭和56年6月1日以降に増改築している建築物は、その増改築の規模により対象とならない場合があります。）
- ③ 地上の階数が2以下で、在来軸組工法により建築されたもの

【補助金額】

診断費用の

2/3（上限4万円）

耐震改修補助金

診断の結果、倒壊の危険があると判断された場合は、耐震改修工事を行いましょう！

【補助対象要件】

- 耐震診断補助金の補助対象要件①～③を満たしていること
(耐震改修の場合は、昭和56年6月1日以降に増改築をしても補助対象となります)
 - 耐震診断の結果、総合評点が1.0未満と診断されたもの
- ※ これから中井町に居住する予定で、「中井町子育て・若年夫婦世帯空き家改修補助金」の交付決定を受けた方も対象となります。

【補助金額】

耐震改修費用の

1/2（上限70万円）

※上限70万円は町内業者による施工の場合であり、町外業者による施工の場合は上限50万円となります。

耐震診断・改修工事のほか、こんな補助制度もあります！

リフォーム工事への補助金

耐震改修と同時に住宅リフォーム工事を行った場合、リフォーム費用も補助対象となります。

補助金額 リフォーム工事費用の1/2
(上限30万円)

耐震シェルター補助金

寝室など、一部屋だけ耐震性を高めることができる耐震シェルター・耐震ベッドの設置費を補助します。

補助金額 設置費用の1/2
(上限25万円)

※ これらの補助制度を利用される場合は、必ずまち整備課へ事前にご相談ください。

詳しい内容、ご相談、ご不明な点は下記へお問い合わせください。

まち整備課都市計画班 ☎0465-81-3901

HP http://www.town.nakai.kanagawa.jp/forms/info/info.aspx?info_id=3755

やってみよう、わが家の耐震診断！

下のチェックリストを使って、ご自身で自宅の耐震診断を行ってみましょう。住宅のどのよう
なところに地震に対する強さ・弱さのポイントがあるかも併せて確認しましょう。

お住まいを建てたのはいつ頃ですか？

Q1

<input type="checkbox"/> 昭和56年6月以降。	1
<input type="checkbox"/> 昭和56年5月以前。	0

●昭和56年6月に建築基準法が見直され、耐震基準が強化されました。

大きな吹き抜けがありますか？

Q6

<input type="checkbox"/> 1辺が4m以上の吹き抜けはない。	1
<input type="checkbox"/> 1辺が4m以上の吹き抜けがある。	0

●建物内に吹き抜けがあると、地震時に建物がゆがむおそれがあります。

災害に見舞われたことはありますか？

Q2

<input type="checkbox"/> 大きな災害に見舞われたことがない。	1
<input type="checkbox"/> 床上浸水・床下浸水・火災・車の突入事故・大地震・崖上隣地の崩壊などの災害に遭遇した。	0

●災害に遭遇している場合、外見では分からないダメージを蓄積している可能性があります。

1階と2階の壁面が一致しますか？

Q7

<input type="checkbox"/> 2階外壁の直下に1階の内壁または外壁がある。または、平屋建てである。	1
<input type="checkbox"/> 2階外壁の直下に1階の内壁または外壁がない。	0

●2階の壁面と1階の壁面が一致していれば、2階が地震によって受ける力はスムーズに1階に流れます。

増築していますか？

Q3

<input type="checkbox"/> 増築していない。または、建築確認など必要な手続きをして増築を行った。	1
<input type="checkbox"/> 必要な手続きを省略し増築した、または2回以上増築を繰り返している。増築時に壁や柱を一部撤去するなどした。	0

●増築時、既存部の適切な補修や増築部との接合をきちんと行っているかどうかポイントです。

壁の配置はバランスがとれていますか？

Q8

<input type="checkbox"/> 1階外壁の、どの面にも壁がある。	1
<input type="checkbox"/> 1階外壁のうち、壁のない面がある。	0

●壁の多い部分は揺れが小さく、壁の少ない部分は揺れが大きくなります。

傷んだ箇所の補修・改修をしていますか？

Q4

<input type="checkbox"/> 傷んだところはない。または、傷んだところはその都度補修している。健全であると思う。	1
<input type="checkbox"/> 老朽化している。腐ったりシロアリの被害など不都合が発生している。	0

●屋根の棟・軒先が波立っている、柱や床が傾いている場合、老朽化と判断してください。

屋根と壁の多さは？

Q9

<input type="checkbox"/> 瓦など比較的重い屋根葺材であるが、1階に壁が多い。または、スレート・鉄板・銅板など、比較的軽い屋根葺材である。	1
<input type="checkbox"/> 和瓦・洋瓦など比較的重い屋根葺材で、1階に壁が少ない。	0

●瓦はやや重いので、瓦屋根の建物はそれに応じた耐力が必要です。耐力は壁の多さに比例します。

建物の平面はどのような形ですか？

Q5

<input type="checkbox"/> どちらかというとき長方形に近い平面。	1
<input type="checkbox"/> どちらかというときLの字・Tの字など複雑な平面。	0

●整形な建物は、地震に対して強い形であることはよく知られています。

どのような基礎ですか？

Q10

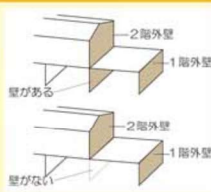
<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリートの布基礎、またはベタ基礎、杭基礎。	1
<input type="checkbox"/> その他の基礎。	0

●鉄筋コンクリートによる布基礎、ベタ基礎、杭基礎のような堅固な基礎は、同じ地震に遭遇したとき、その他の基礎と比べて、同じ地盤に建てられても丈夫です。

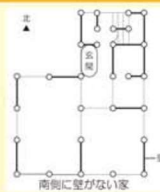
Q5
例示



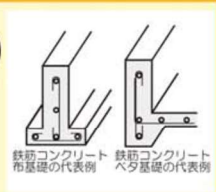
Q7
例示



Q8
例示



Q10
例示



総評点

10点	ひとまず安心です
8~9点	やや不安があります
7点以下	不安があります

※診断結果はあくまでも目安です。もっと詳しく知りたい場合や、診断の結果については、専門家の診断を受けることをおすすめします。